

JCD

Kansai

1997.3. Vol.40

ショッピング&遊ing「モモ」

momo



□ 京都最大規模のND (ニューデパートメントストア) のはじまり

’96年11月26日、近鉄百貨店桃山店が、京都市伏見区にOPENした。

延床面積10,600㎡内に、百貨店22,000㎡、専門店8,400㎡、駐車台数2,000台、隣接にスケート場、バンジージャンプ等のスポーツ施設を併設する、京都最大規模の郊外型SCだ。

京都市の南、伏見・山科地区は、京都市人口全体の20%をしめ、近年、京都、大阪のベッタタウンとして開発が進み、人口の増加率もUPし、今後も期待できる地域である。又、団塊の世代、団塊ジュニアの多い中、乳幼児(0~9歳)が京都市平均よりも1ポイントも高くヤングファミリー主体の立地となる。

こうした多彩で多重な、時間と空間を家族で楽しめるよう「ファミリー・エンターテイメント・フェスティバルマーケット」を開発コンセプトとして、スタートした。



□ NDのMDの方向性

近鉄百貨店桃山店は、従来の近鉄百貨店の他店とは違い、近鉄百貨店初の郊外店となり7つのMD確率にポイントの重きを置いた。

- | | | |
|---|------------------|--|
| ①ファミリー・エンターテイメントMD | } 土日型広域
対応のため | ●ファミリー・コネクトゾーンのクロスアップ
●カジュアルファッション、アウトドアスポーツ
●京都初、日本初等 |
| ②余暇関連充実MD | | |
| ③“ここだけ”MD | | |
| ④自用品充実MD……食品、日用品、デリーユーズの品揃え強化 | | |
| ⑤品揃えMD……ワンストップショッピング対応 | | |
| ⑥郊外型・大規模展開業態MD……幅、興行とも専門的品揃えの大型店、車立地ならではの業態の導入 | | |
| ⑦ブランドショップのトータル展開のワールドMD……ファミリー、レディース雑貨等をワールド発想で | | |

上記の7つのMDをポイントに、周辺GMSにない魅力と、都市型百貨店にない魅力をサポートし、夢のある生活エディションのためのマーチャダイジングストアを目指した。又、同時にローコストオペレーション実現のために、ハード面でのローコスト、省力化、標準化、システム化によるランニング、コストの低減を考慮した、MD計画を取り入れ、『遊・楽・賢・実』をMDの方向性として確立させた。



洗練されたカジュアル

近鉄百貨店桃山店を核として、大型専門店(8,000㎡)、専門店(4,000㎡)、飲食店(4,400㎡)、アミューズメント棟(4,800㎡)の各施設を、太陽・水・緑・風をモチーフした街の風景に置き換え、複合施設だからこそ百貨店として、コアコンピタンスを発揮させた。さらに街の風景に馴染むように、120mを越える間口に対し、テントの連続性、大ウィンドー(W=5,500・H=3,000)上部からの木漏れ日の様な、間接光をとり入れた街区を演出した。

又、対角にメインエントランスを設け、柱上部に京都らしさを施した和紙入りの行灯を設置し、お客様をやさしく迎えている。百貨店にありがちな重厚なイメージを除去し、お客様に気軽に来店してもらえる様に、百貨店としての雰囲気軽く味付けし、洗練されたカジュアル“CASUAL CHIC”をデザインコンセプトとして創造された。

大回遊計画

1フロアー、7,000㎡の大空間に、複雑な導線計画は、逆にお客様に混乱を招く恐れがあり、位置確認のしやすさ、導線・主導線とタテ・ヨコの副導線による都大路通路計画を実現した。同時に、木調床に4,200Kの明るさのベース照明を配置し、全体的に明るく、お客様の視点でわかりやすい様に、全景が見通せるよう考慮し、エアダクトコアの上部には、各コーナーのイメージをイラストで表現した。さらに従来の百貨店にある造り付けの造作家具を一切排除し、什器中心の売場にしてフレキシビリティ化を計り、それがローコスト化にもつながった。

一方で売場の性格分類による売場づくりを目指し、それぞれのパターンのマニュアル化による、整理された売場を実現。それにVP・PPの明確な“道標”を付ける事により、売場にワイド感・ソフト感を取り入れた。

全体的に、従来の百貨店よりも、かなりライトな売場となったが、各売場のポイントを抑える事によって、百貨店らしさが点在し、これらの郊外型大型百貨店の方向性が、かすかに見えた様な感がある。近鉄百貨店とサブ核専門店、アミューズメント、スポーツ施設を加え、今、ND(ニューデパートメントストア)の進撃がはじまる。

(株)船場
三隅 達也 / 清未 勇

近鉄百貨店桃山店

- ファミリーコーデイナイトウェア(1階・2階)
- 紳士服(2階)
- 婦人フレグランス/婦人ブラックフォーマルウェア/ミセスコーデイナイトウェア/婦人アダルトコーデイナイトウェア/婦人ヤングカジュアルウェア/婦人インナーウェア/ナイトウェア/マタニティウェア/メーシュークラブ
- 紳士服(2階)
- 紳士カジュアルウェア/メンズオンタイムウェア
- 子供服・子供用品(2階)
- トマトマート/キッズキャラクター/知育玩具・ベビー家具・雑貨・出産準備用品
- 化粧品(1階)
- アクセサリー(1階)
- 婦人身体用品(1階)
- 紳士用品(1階)
- 婦人くつ・ハンドバッグ(1階)
- ナチュラル&ドライフラワー(1階)
- 食品(1階)
- 生鮮食品/惣菜/おし・弁当/グロサリー/パン/和・洋菓子/和・洋酒/保存食品
- フーズ&ドラッグス Super Store Max(1階)
- BOOK & SOUND Maruyama(1階)
- パソコンショップ Happy as a CLAM(2階)
- 総合家電 タニヤマ&セン(2階)
- スポーツ用品 SPORTS Aiden(2階)
- ジーンズ&カジュアル Right-on(2階)
- トイ&ホビー TOY WORLD(2階)

専門店

- ＜レディース&メンズファッション＞
- 紳士服 タルボット(2階)
- 紳士服 T・G・I・F(2階)
- 紳士服 AFRICANO(2階)
- 紳士服 エルメ(2階)
- 紳士服 ローリーズセカント(2階)
- 紳士服 A・R・R・O・W(2階)
- 紳士服 USAGIYA(2階)
- 紳士服 MELIS(2階)
- 紳士服 丸毛(2階)
- 紳士服 ジョリー・キンシド(2階)
- FASHION SPACE CHRONOS by SASAKI(2階)
- きもの 三松(2階)
- ＜ファッション雑貨・アクセサリー＞
- 靴 SHOES WORLD(1階)
- レディース&メンズバッグ Cavallier(1階)
- ハンドバッグ 東京デリカ(1階)
- アクセサリー クレアーズ(2階)
- インポートアクセサリー&雑貨 Petit Cadeau(ブティックカード)(2階)
- カメラ・情報機器 キョクチ(2階)
- 宝飾・貴金属 ベリテ(2階)
- 宝飾・貴金属 REIKA(2階)
- 宝飾・貴金属 中真堂(2階)
- アクセサリー・雑貨 夢ステージ(2階)
- 時計 TIME ORAMAT(2階)
- ＜生活雑貨(その他)＞
- インテリア雑貨 OUBLEOAY(1階)
- バラエティー雑貨 プレゼントブティック MIO(1階)
- インテリア雑貨 パスポート(1階)
- ハリのふだん服&生活雑貨 ママイッコ(1階)
- アクセサリーショップ F&M(アフタヌン花道徳(1階)
- 生活雑貨 ポザール(2階)
- 印章・印刷 OTANI(2階)
- ＜サービス＞
- 美容 King 美容 Queen(1階)
- ビジュアルCDレンタル ビデオステーションWOW(1階)
- ブライダルサロン コンパル(2階)
- ＜アミューズメント棟＞
- ベントショップ ベントログ(1階)
- 動物病院 林屋動物診療室(2階)

レストラン

- そば・うどん 家族亭(1階)
- お好み焼・まぜ焼 とろりやんせ(1階)
- イタリア料理 カプリチオサ(1階)
- カフェテラス カフェテラス 蘭館(1階)
- とんかつ とんかつ いなば和幸(1階)
- 台湾家庭小皿料理 阿蘭山(アール・シー・ジャン)(1階)
- クレープ・ジェラート クレープハウス・ユニ(1階)
- ファーストフード(ドーナツ&飲料) ミスタードーナツ(1階)
- BAKERY RESTAURANT Muffin Bell(1階)
- ＜アミューズメント棟＞
- お好み焼&レストラン カルラ・チ・レストラン(1階)
- うどん・居酒屋 吾茶屋(DONCHANYA)(2階)
- フードコート(フロンティアガーデン)
- 回転寿司 かつぱ寿司(2階)
- サンドイッチ&サラダ SUBWAY(2階)
- うどん・そば 兵太郎(2階)
- アイスクリーム カネボウ レインボーハット(2階)
- シュークリーム スパイシー(2階)
- お好み焼・そば・うどん・焼肉 浪花楼(なにわふく)(2階)
- フライドチキン ケンタッキーフライドチキン(2階)
- 丼 天のみ(2階)
- ラーメン・キョーザ・焼肉 神戸ローかん本舗(2階)
- ハンバーガー マフトナルド(2階)

スポーツ&アミューズメント

- スポーツエンターテイメント ぶれいスポーツAIGO/(1階)
- ＜アミューズメント棟＞
- アミューズメント セガワールド(11月下旬オープン)(2階)

アジア太平洋スペースデザイン会議'96 福岡

'96. 11. 7 ~ 9 (JCD創立35周年記念事業)

11月7日(木)9:00頃より、ホテル日航福岡の会場ロビーに全国から会員やら関係者が集まる。関東や九州の顔見知りの会員に、しばらくぶりに会い、なつかしく挨拶をかわす。アジアからの参加者の中に韓国のミン氏、マレーシアのベーカー氏、アリス・シン女史など、一昨年名古屋でのIFI会議(世界インテリアデザイン会議)で出会った人々と再会を喜んだ。

10:00よりアジア太平洋スペースデザイン協会の総会が奥平副理事長の司会で始まった。福岡市長の桑原敬一氏のアドレスに続いて、野村武彦JCD理事長が挨拶、「21世紀を目前にして、いまや政治・経済・情報はグローバル化の一途であり、我々、職能人にも地球レベルの視野が大切な時代になっております。」等、本会議の意義を強調された。

続いて各国代表の挨拶となった。韓国KOSID呉義照理事長、台湾CSID鄭興國会長、日本JID泉修二理事長、インドネシアHDIMIミヤンティ・スジャリファド会長、マレーシアMISDベイカー・アブラヒム会長、フィリピンPIIDベリー・S・モレイ会長である。

議事に移り、①加入希望団体として、インドのIIID、韓国のKOSID、日本のDDAで紹介されたが議決なせず。②規約改正として「政治色を帯びない団体である」「デザインプロフェッショナルな団体が加盟する」などを盛り込むこととなった。③JCDからの提案としてIFIの友好団体として加入する提案があり、合意された。④次期開催国として、マレーシアとインドネシアが立候補、投票の結果、マレーシアと決まった(1998年)。⑤JCDより、'97年3月にインターネットホームページを開く予定のアナウンスがあり閉会となった。

午後の部は、ハウステンボス(株)取締役社長・神近義邦氏の基調講演、福岡地所(株)代表取締役社長・榎本一彦氏のスペースレポートがあった。ハウステンボス内の花30万本を70戸の花農家に球根を売って開花後納入させる。この構造によって10,000人の家族を養っていることになり、立派な産業構造となる。その他食材のことを含め観光産業と一次産業の合体が21世紀の新しい産業構造となることを力説された。

福岡地所の「キャナルシティ博多」についての榎本社長の話は、設計家ジョン・ジャーディの手法、日本側とのやり取り、二転三転した設計とそれぞれ興味尽きないものがあつた。都市がエンターテイメントでなくてはならないとの説は、商環境を設計する者に対して説得力があつた。

夕刻より、ウエルカムパーティーとなり、一日の疲れをいやすべく、大いに飲み食いし歓談、壇上では野村理事をはさんで、各国代表のハンドインハンドで友好の輪となり、大いに盛り上がった。この乗りのまま夜の福岡「JCDフォーラム35」に移動、3会場に分散して行った。私はBパーティー『屋形船による那珂川のクルージング』に参加。台湾からの10数名を案内、2時間少々雨の降る那珂川をクルージングしながら、ローカルデザインについてあれこれ話す。

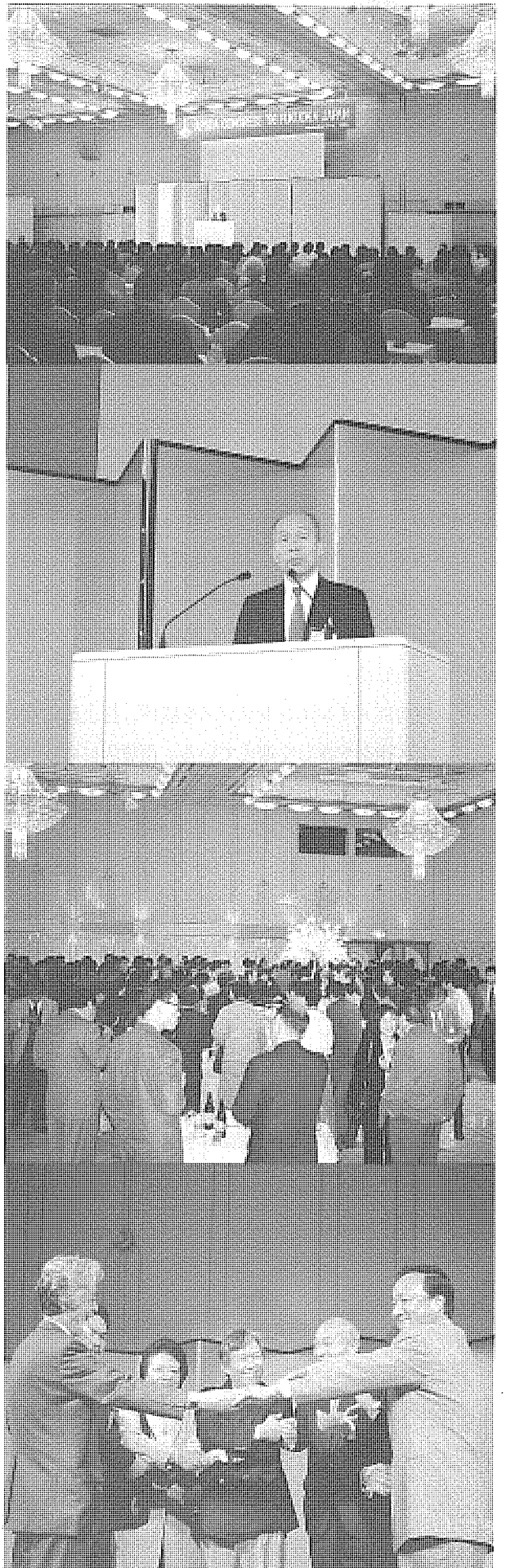
私から震災と復興の様子を話した。大いにお酒も進んで、下船後、「キャナルシティ博多」を訪ねる。夜の照明設計の巧みさに関心してホテルに戻る。

8日朝、同ホテル泊の白井進氏と朝食後、会場へ。会わず顔ごとに朝の挨拶、2日目のスケジュールに入った。午前、(株)ツインドームシティ代表取締役社長・中内正氏、午後、九州旅客鉄道(株)代表取締役社長・石井幸孝氏の講演となった。

中内氏は東京一極集中をきらい、福岡から発信をめざす立場からの、福岡ドームとシーホークホテルを解説。石井社長の講演では、JR九州が駅舎と車両で展開してるデザインコンセプト、特にテーマカラーをレッドに徹底した方法に興味を持った。都市のデザインと鉄道といった論点はまだまだ先の問題と思われた。

全般にわたって中味の濃い会議であつたが、商環境設計家集団としては、もっと楽しい「もてなし」の演出があつてよいのではと思つた。

小宮 容一 記



● 参加者（登録者） ●

JCD 154名	}	九州支部	40名
		関西支部	40名
		関東支部	38名
		中部支部	11名
		四国支部	10名
		中国支部	8名
		北陸支部	4名
		北海道支部	3名

JID	22名
海外	90名
一般	80名（学生含む）

合計 346名



アジア太平洋スペースデザイン会議'96に参加して

テーマにふさわしく“福岡から新しい風”を感じさせる3日間であった。特にアジアの玄関口としての九州全体の一体感は、大阪に住む私にはより強く感じられ、この“連帯感”“一体感”が今後の地域開発のテーマや、進行する上での力強さとかかわってくることを実感した。施設レポートのキャナルシティ博多はコンセプトアルな施設で、福岡地所の榎本社長のお話の中にありました。日本中“他にないもの”“都市の劇場”というテーマに根づいた、エンターテインメントを切り口に、“物を売る”から人がどう過ごすかという“時間消費型”で構成、ホテル×2、劇場、映画館、アミューズ、飲食、そしてサブ核の大型物販の商業MIXとなった。

又、その実現をジョンジャーディを中心とするグループにまかせ、エリア全体を体験する都市とさせたこと、ジャーディの計画手法の中で、プレイスメーキング、チャンバーリング、ランドスケープデザインと言った計画・手法を、実際現地を訪れてまざまざと感じられた。

次のセッションでのハウステンボスの社長神近氏のお話も興味深いものであった。日本における新しいタイプの街づくりをハウステンボスを例にあげ、“観光と農業による地域開発”と位置づけ、集客の条件として〔①環境演出 ②アミューズメント ③エンターテインメント ④知的欲求 ⑤快適な住空間 ⑥観行動線 ⑦情報発信 ⑧地域のイメージ〕と分析し、これからの日本が掲げる地域産業復興の柱とするべきものがあるという力強い内容であった。

他にも各分野の方々のレクチュアも興味深いものが多く、いずれも九州での実績や成果を元に話された点に『クリエイション九州』を強く感じさせた。

(株)船場 立花 尚登

プログラム

11/7	10:00~12:00	アジア太平洋スペースデザイナー協会総会
	13:00~15:00	基調講演Ⅰ
	15:30~18:00	スペースレポートⅠ
	18:30~20:30	ウエルカムパーティー
11/8	10:00~12:00	スペースレポートⅡ
	13:00~15:00	基調講演Ⅱ
	16:00~19:00	パネルディスカッション
	19:30~20:30	フェアウエル カクテルパーティー
11/9	視察	

ニューヨーク美術館めぐり

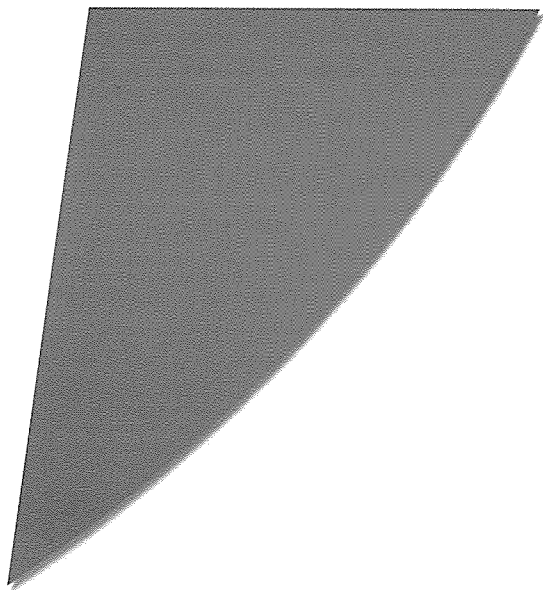
藤谷デザイン事務所
藤谷 明正

訪れた時、ニューヨークの街はクリスマスデコレーション一色に包まれていた。夜はビルのライティングとクリスマスイルミネーションが華やかでとても美しい。6年ぶりの景気回復で買物客も多く、街は活気に溢れていた。街の風景や喧噪を楽しみながら美術館を見て歩く。

●グッゲンハイム美術館 ①

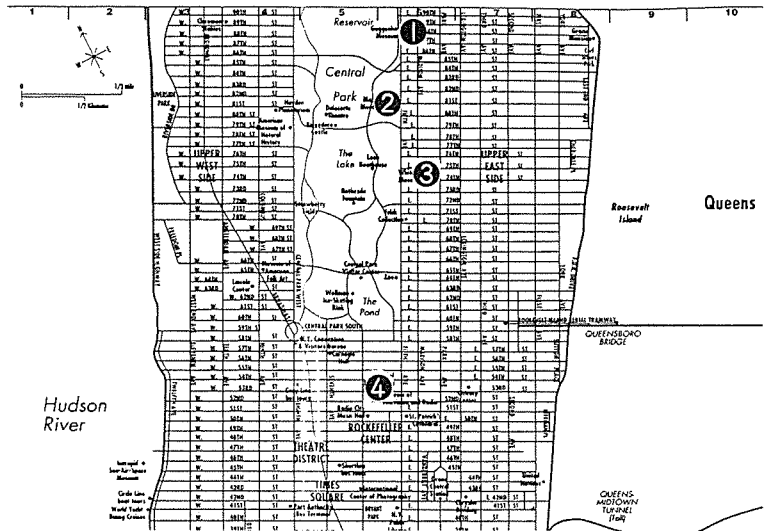
グッゲンハイム美術館は1937年、実業家ソロモン・グッゲンハイムのコレクションをもとに創設された。建築家フランク・ロイド・ライトの設計として有名なことは周知のとおりである。今回の企画展はエルワース・ケリー展('96 10/18-'97 1/15)であった。モダンな色面構成の大作と、緩やかな螺旋スロープを鑑賞しながら歩く人物がよくマッチしている。ケリーの作品は、自然と抽象の関係を主題に、さまざまな物体を幾何学的な形に変えて、独自の色彩、形、曲線、影で空間を構成している。1950年後半から現代にいたるアメリカの抽象絵画の一面が理解できる作品であった。常設展ではシャガール、カンディンスキー、モンドリアンなどの作品も見ることができたが、スペースが狭く点数は少なかった。

A



●メトロポリタン美術館 (MET) ②

セントラルパークにあるマンモス美術館。先史時代から現代まで、6000年にわたる文化と芸術作品300万点以上のコレクションの中から10万点を公開している。



エジプト美術、ギリシャ・ローマ美術、中世美術、ヨーロッパ絵画、アメリカ美術、東洋美術など19の部門からなり、一つ一つのセクションが普通の美術館に相当するボリュームと思われる。全部をじっくり鑑賞するには一週間は優に必要であろう。全体を駆け足で見てもわかったが、ヨーロッパ絵画のセクションには時間をかけた。なかなかお目にかかれないフェルメール(1632~1675 桁ダ)の作品に出会った。フェルメールは、生涯の作品点数が少なかったため、死後忘れ去られていたが200年後に再評価され、今日、最も評価の高いオランダ画家の一人である。

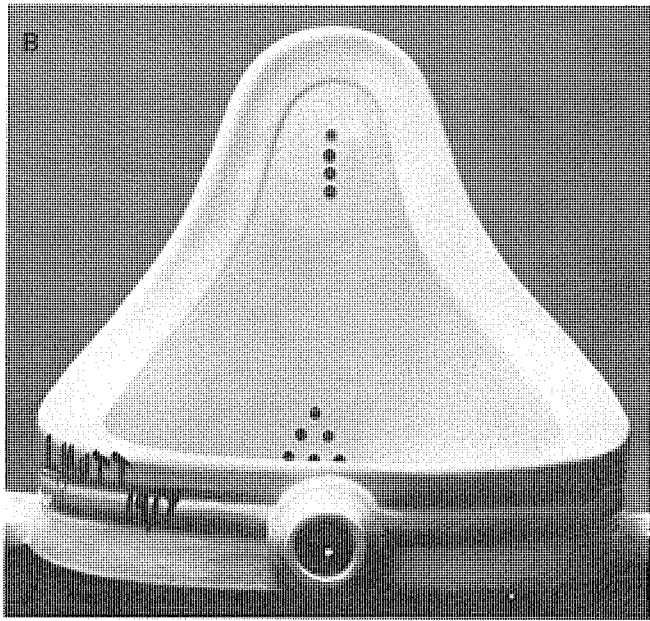
また、ゴッホの作品「麦わら帽子の自画像」と亡くなる年(1890)に描かれた「アイリス」にもお目にかかった。「麦わら帽子の自画像」は以外に小さく、部屋の中央にイーゼルで無造作に立てかけてあったのには驚いた。

●ホイットニー美術館 ③

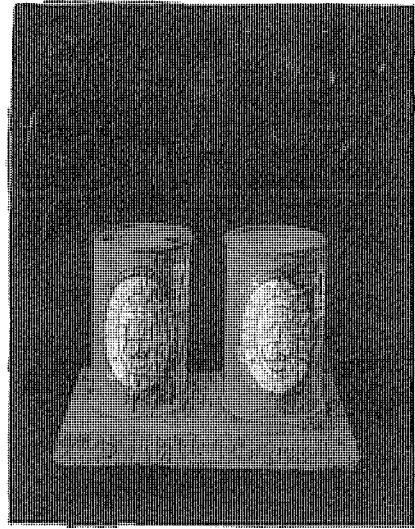
創設者G. V. ホイットニーは彫刻家であり、アメリカ美術のコレクターであった。そのコレクションをベースに美術館は設立された。20世紀アメリカ美術の最大規模のコレクションを誇るもっともアメリカらしい現代美術の美術館となっている。マルセル・ブロイヤーの設計による5階建の建築は逆階段型の個性あるファサードで印象深い。1966年現在のマジソン街に完成とのこと。

作品は、“現代美術は20世紀に入って、マルセル・デュシャンの時代から始まる…”と言われるように、会場中央にデュシャンのオブジェ「泉」からはじまりアンフォルメル、ネオダダ、ポップアートとアメリカ現代美術の潮流の中に、デュシャン、ラウシェンバーグ、ジャスパージョーンズ、ジムダイン、リキテンシュタイン、ウォーホル等モダニズムの伝統とも言えるアーティストのオブジェやタブローが並んでいる。

ヨーロッパの個人的な制作姿勢から離れ、社会とのかかわりの中から、日常的なものを全く違う状況で見せたり、文明批判と思える作品であったり、さまざまな概念の変遷がおもしろい。



C



●ニューヨーク近代美術館 (MOMA) ④

後期印象派を中心とした、ヨーロッパ近代美術のコレクションは、充実していることで世界的に知られている。ゴッホ「星月夜」、ゴーギャン「月と大地」、ルッソー「眠れるジプシー」、ピカソ「アビニョンの娘たち」等巨匠の代表的な名画がつつぎと現れる。「戦前のアメリカ美術」「戦前のヨーロッパ・アメリカ美術」「現代美術」も素晴らしい作品が多い。絵画のほか、彫刻、版画、建築、デザイン、写真、映画・ビデオまで、近代アート動向の全体像を目にすることができる。館内に入ると、ガラス張りで4階まで吹き抜けるガーデンホールから屋外彫刻ガーデンが素通しで見渡せる。長方形の池や木々に囲まれた彫刻ガーデンには、ロダン、マイヨール、ヘンリームーア、マチス等の彫刻が点在する明るく爽やかな環境になっている。

今回の企画展はジャスパー・ジョーンズ展('96 10/20~'97 1/21)ジャスパー・ジョーンズはネオ・ダダを代表するアーティストとして知られている。1950年代から星条旗、標的、数字など日常的サインをモチーフとした作品を発表、センセーションを巻き起こした。また、画面にオブジェを共有させた絵画や電球やビール缶などを実物と模造品を対示させた作品など、つつぎと話題作を発表する。代表作の油彩をはじめ、素描、版画、彫刻とジャスパー・ジョーンズの全てとも言える作品群は、見応えのある展覧会であった。

.....

A : エルワース・ケリー

Blue Curve 1996

B : ジャスパー・ジョーンズ

Working proof for Cans. 1964

C : マルセル・ジュシャン

泉 レディメード(観) 1917

メトロポリタン美術館のカフェで昼食をとる。昼食時をかなり過ぎていたが混んでいて、テーブルを確保するのが大変だった。レストランも長蛇の列。観光客も多いと思うが急ぐ様子はなく、終日美術館で過ごすのであろう。このような風景は近代美術館でも見られた。入場料はメトロポリタン7ドル、グッゲンハイム、ホイットニー各8ドル、近代美術館8.5ドルと内容から考えると安いと思う。また、毎週金曜夕方(6:00PM~8:00PM)は入館料は定めず、入館者の任意の額で入場できる。ほとんどの美術館が非営利団体として市民への美術館サービスにあたり、美術館が市民の生活に密着しているのが伺える。文化遺産を持たないアメリカ人は、精神的な欲求として芸術に憧れと、親しみを持っているのではないかと思った。

限られた時間ではあったが、新しいトレンドを求めて、ソーホー地区のギャラリーも歩いてみる。しかし新しいエネルギーを感じることは出来なかった。不動産価格の上昇で、ギャラリーがブティックに変わり、ギャラリーやアーティストは家賃の安いチェルシー地区に移転しつつあるとのことであった。60年代から華々しく世界のアートシーンをリードしてきたニューマークもその役目を終えたのであろうか…。アーティストの目は公害、自然破壊、そしてそれらを作り出す競争社会に疑問を持ち、街を出てエコロジーのフィールドからランドアートへ、そしてさらにコンセプチュアル・アートへ移行した。この頃から実際に目に見える作品だけでなく、作家の異様な発想や、行動、文明に対する態度がアートとなり、アーティストの個人的な思案は見る人に難解を極め、現代美術は急速に力を失ったように思う。いま、またコンピューターを中心としたテクノロジーのアートやニューメディア・アート、環境芸術等が21世紀への模索を続けているが、情報化社会のなか、世界中が均一化し、ニューヨークがその中心になることはもうないようにも思う。

関西支部活動

'96 JCD関西支部 クリスマスパティー

日時 '96.12.9(月) 18:00~20:00

場所 梅田スカイビル39F

スカイバンケット 天風(てんぷう)

「クリスマスパーティーは好評だったが…」

組織委員会が新体制になってから初めてのクリスマスパーティーを、JCDにとっては2年ぶりに開催しましたが、出席された方は楽しんでいただけたのでしょうか？

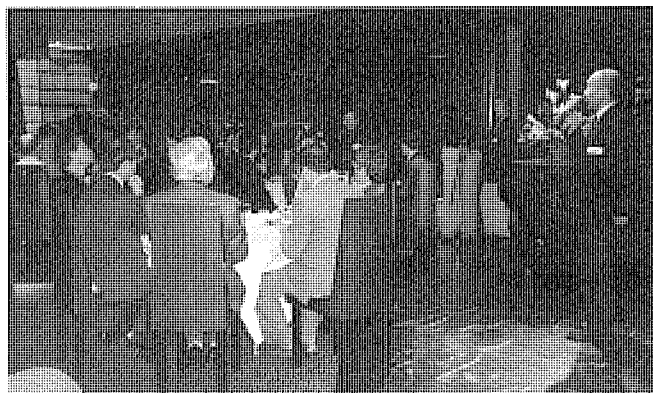
最近、JCD主催の行事に対する出席率が低下しており、又、動員に対する苦勞が予測されたので、会費を出来るだけ押さえる為に、公民館を借りて手作りのパーティーを開いてはどうかというアイデアも検討したが、過去の組織委員会が築いて来たクリスマスパーティーのイメージを壊しては申し訳ないということになり、再度足場のいい大阪駅周辺で探した結果、新梅田シティを発見した。

当初は会費の高さに躊躇したが、足場が良く、何と言っても眺望が申し分なく、パーティーの中身次第ではそこそこ集まるのではないかとする事になり、高城委員長と下見に行き決めた。

久しぶりにパーティーらしいパーティーをやろうと、過去の経験を思い出しながらアイデアを絞ったのが、交換プレゼント、おしゃれコンクール、生演奏、カップルチケット、ニューフェイス紹介でした。ただ生演奏だけは予算の関係で断念した。

そして当日を迎え、予想を上回る参加者で、特に若い女性が多く、おしゃれ着に身を包んで大阪の夜景を眼下に見下ろしながら、楽しんでいただいたのではないかと思います。

ただ残念なことは正会員の参加者が半分以下だったことである。しかも参加者の顔ぶれは大体固定して来ている。この状態は悪く言えば、会員間の情報交換の集いでありながら、仲良しグループの遊び事になっているのかも知れない。私も経験があるが、パーティーの参加者の親密度が高い程、新顔は溶け込みにくく、はじき出されてしまう。そんなことを一回でも経験すると、二度と行きたくなくなる。古参も新米も関係なく対等に自由に交流できる集いを企画し、参加しやすい環境づくりが必要だと痛感した。



組織委員会は新体制になってから、支部集会、賛助会員交流親睦会、そして今回のクリスマスパーティーと、連続して会員間の交流を図る為にパーティーを開催し、参加者には好評であったと自負しているが、若干割り切れない気持ちもある。組織委員会の使命として会員増強を与えられているが、それ以前に現在の会員の活動参加率を高める対策が求められている気がする。その為には職能集団としての団体活動の企画と、会員による社会アピールを行う必要がある。又、会員のビジネスに関わる情報交換の出来る場が欲しい。

我々の職域である商環境を一口で言っても、建築設計、店舗設計、ディスプレイ、更に商業コンサルタント等多岐に渡り、最近話題の博多キャナルシティ等大規模開発に至っては、プロデューサーが必要となる。JCDの会員がチームを組んで、話題性のある商環境をプロデュース出来るようになれば、自然と会員活動が活発化し、会員増強につながるのだが…。

最後に、同じ職能を持つ他の団体との連携を強め、社会的発言力を高める活動を行いたいと思う。

組織担当理事 神戸 一生

参加者：会	員	27名
賛助会員		26名
会員外参加者		13名
事務局		1名
合計		67名



関西支部活動

『にぎわいおおさか 50年祭』参加

開催日 '96. 10. 26(土)～10. 27(日)

場所 大阪城公園・太陽の広場



平成8年10月26日(土)・27日(日)の両日に、大阪市商店会総連盟・創立50周年記念事業“にぎわいおおさか 50年祭”が大阪城公園・太陽の広場で開催されました。商店街の振興発展と、消費者と商業者のふれあい交流を図る事業の趣旨に賛同し、又、市商連との交流、PR広報活動の一環として、出展参加をいたしました。展示ブースは、DDAと共同で展示運営することとなり、「都市の広場づくり」をテーマに商店街の活性化とパティオ計画の内容を、パネル展示とビデオでの放映といたしました。

全体の会場には、350の小間が設営され、イベントステージでは、チャリティーオークションやゲーム、ショー等が行われ、一日中家族連れでにぎわっていました。

又、商環境、ディスプレイのコンサルタント集団という看板をかかげ、2名のコンサルティングカウンターを設け、よろず相談を受け付けました。

“にぎわいおおさか 50年祭”は、秋晴れの好転に恵まれ、総入場者数25万人と盛大のうちに2日間の幕を閉じました。

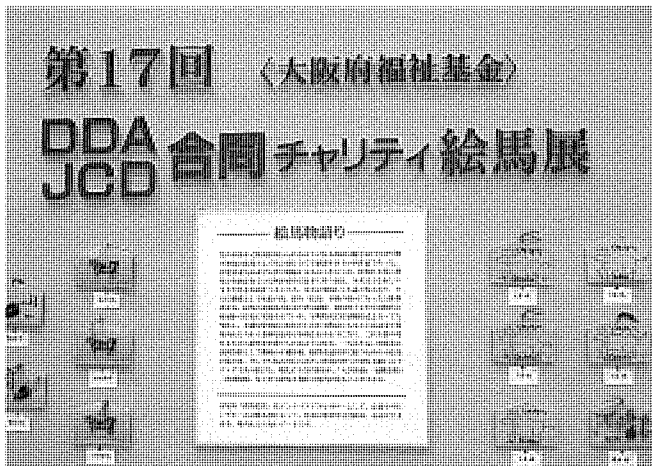
ご協力をいただきました賛助会社の皆様、並びに展示協力をしていただいた(株)フジタカ様には、厚くお礼申し上げます。

金沢明彦 記

『第17回 DDA・JCD合同チャリティー絵馬展』

開催日 '97. 1. 10(金)～1. 16(木)

場所 極アムニティーパーク2F 特設ギャラリー



平成9年1月10日(金)から16日(木)まで、DDA・JCDの合同チャリティー絵馬展が大阪アムニティーパークOAPプラザ2階のパブリックスペースで開催されました。

毎年、有志によってDDA絵馬展に、会員が出展をしていましたが、今年から、DDAからのお誘いがあり、趣旨にも賛同し、DDAとの合同主催をすることになりました。

この事業は、年末に、会員の皆様に絵馬を配布して、正月休みに絵筆をふるっていただいて、絵馬展を開催し、チャリティー募金を大阪府の福祉基金として募金するものです。

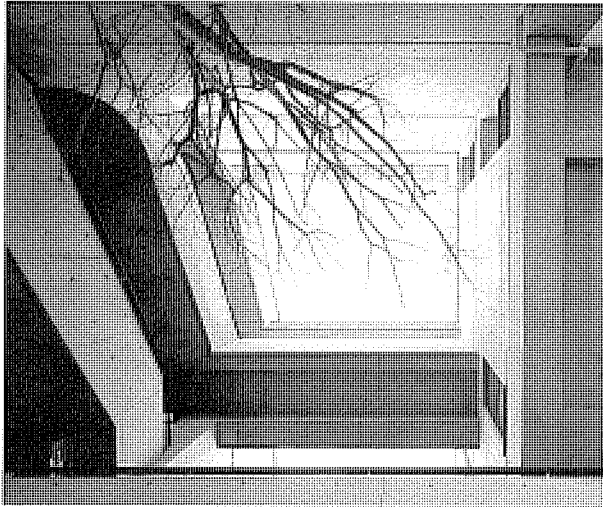
今年は、主催のJCD・DDAの会員の他、建築事務所協会、東大阪美術協会、毎日放送、タレント、デザイナー、OL等の一般参加を含め総勢220名の参加があり、絵馬の出展総数は388枚にもなりました。JCDは会員の皆様、知人、家族を含め、48名による78枚の出展がありました。絵馬には、絵画があり、書があり、クラフトがあり、モダンアートがあり、デザイナーの個性を忍ばせる大変楽しい作品が集まりました。

総入場者数は2,000名を超え、毎年の方々の常連の方や、会場がオフィスビルのパブリックスペースということもあって、昼休み時や夕方の帰宅時には、OLやサラリーマン達でにぎわっていました。

チャリティー・オークションの方ですが、JCDの関係の売上は146,300円で、経費を引いて大阪府の福祉基金に募金する予定です。

絵馬を出展していただいた皆様、受付で頑張っていたいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。又、来年はさらに充実した絵馬展にしたいと思っていますので、多数の参加を願っています。

絵馬展実行委員長 金沢明彦 記



最近建築設計の方が忙しくて、毎日仕事に追われています。神戸の街も震災から、プレハブの街へ変貌したように思います。

我々設計の仕事をしている者にとっては悲しい限りです。

震災から早2年がきます。やっと店を再開しようと頑張る店主も多く見かける様になりました。

早く、おもしろい神戸に戻るよう願っています。

伊藤司建築設計事務所 伊藤 司

コンピュータ作図(CAD)に興味を持ち初めてMac君を購入したのが4年近く前でした。

それから約2年間使い方もわからずMac君はカバーをかぶったままぐっすりとお休み状態で事務所の飾り物として一区を占拠していました。

スタッフも皆初めての経験者でしたので使え、使えと号令をかけても稼動にはあたりません。

2年ほど前どうしてもCADでの図面作成の要に迫られそれからMac君と苦闘の日々が始まりました。エラー、動かない、セッティングミス、周辺機器との照合ミス——さまざまな試練をMac君に課せられ何度机を叩いたか……。

今となっては笑っちゃう話も数々ありました。コンピューターメーカーの相談室に連絡した時の事。『それはドライバーをセッティングしなければ使えません』(ドライバーとはコンピューターとコンピューターを繋ぐソフトウェア)当方は何のことやらドライバー(ねじまわし)を何に使うのか話がちっとも通じないなんて事もありました。

孤軍奮闘、4ヵ月も過ぎるころ何とか周辺機器も含めて稼動出来る状態となりました。

今ではMac君は非常に便利なそして愛着さえ感じる道具として毎日離せないようになりました。

当時は私の周辺では使っている方も少なく教えてもらえる方もなかったのが本当に苦勞させられました。これから導入を考えておられる方、購入したが眠っている状態になっておられる方、コンピューターは非常に便利な道具です。周辺機器も価格が安くなって購入しやすくなっています。ぜひ稼動状態してお仕事の効率UPを計られてはどないでっか!!

エーディーエー 亀井克二

昨年暮れ、新生活のスタート記念に近頃話題のLAS VEGASへ行ってきました。噂通りの大型ホテルブームで新築、改築とにぎわっていました。そのひとつでこのお正月にオープンした「ニューヨーク・ニューヨーク」はまさに最後の追い込みで、ほとんど24時間体制で職人さん達ががんばっていました。この業界に国境はなし。と改めて実感した次第。ただでさえ、おおらかな人種の方達なのに大丈夫なのかしら・・・?!と他人事ながら少し心配でしたが。

しかしながら、西の宵空の下にそびえる1/3サイズのミニ摩天楼は笑えます。どこへ行っても徹底した大袈裟な仕掛けと、これでもか攻撃の連続で、楽しめます。アメリカのエンターテイメントがたっぷりつまっています。ぜひぜひ一度お試しを♡



ニューヨーク・ニューヨーク
3790 Las Vegas Boulevard South,
Las Vegas ☎702-740-6969

関エーピーシー商会
湯浅 知子

猫の様に丸くなって

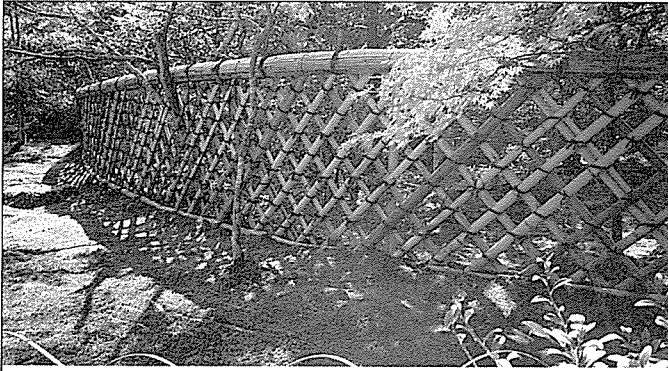
カクテルなんぞ飲みながら

昼寝が出来たら良いのになあ

「こんなことばかり言っているから、酒飲みなんて言われるんだろうなあ。
でも、ちゃんと仕事だっているんだけど……」

JCD関西支部事務局

今井 由香里



臥牛垣 (光悦垣)

垣根の造形は和風のモチーフです。この光悦垣は独創的なデザインで私達に迫ります。今から三八〇年(元和元年、一六一五年)前、京都の北、翠巒の山々に抱かれた鷹ヶ峰の地に徳川家康公が本阿弥光悦に工芸の里をつくらせ、現在の京工芸の発展の礎をつくった。その敷地に供養の霊屋として光悦寺が建立され茶道を愛した茶席、大虚庵がある。その庭にこのような垣根が今日見ることが出来ます。直線的構成で或る空間を区切るための垣根はあたかも牛が臥す如く上部がなだらかに表に下り、全体が大きく弧を描いて柔らかな造形であります。狭い庭園を視覚的に拡がりを見せる透視図法的作風は私達の仕事にも深い指針を与えていると思います、ぜひ一度秋の紅葉に向かい下さい。

丁丑歳記 太田 眞昭

● 私の反省より ●

不況は仕事の原点である、
 原点に戻って己を知れ。
 自らの力を再点検せよ。
 不退転の覚悟で仕事をせよ。
 古い慣習、慣行、常識を打ち破れ。
 心と金にゆとりを持て。
 人材育成に力を注ぐ
 責任は我にあり。
 先を覩たネットワークを作る。
 日頃から身体と頭と人間関係を作る。

高城 茂四郎

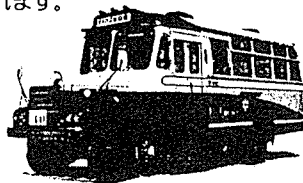
日本バス友の会関西支部長の中尾晋也です。

「趣味は何ですか？」よく聞かれる会話です。「バスですワ」「は？バスでお風呂ですか？温泉巡りよろしいなあ」とか、「ブラックバス、手応えおまっしゃろ」と多くの人が言う。「いや、町中走ってるバス、人を乗せてるバスですわん」と照れ笑いをする。「バスが趣味で、けったいな趣味でんなあ」と困惑した顔を私をのぞき込む。

64年から集めはじめた、バスミニカー。三十数年を経て今自宅の車庫には千五百余台。

95年のアサコムでのコレクション展の後、「開運何でも鑑定団」、「天下一品博物館」「痛快エブリディー」などのテレビや、朝日新聞紙上で取り上げられる事数回、日本全国バスファンの集い「日本バス友の会」の仲間と、旧型の本物のバスを12台動態保存して十数年。夢はバス博物館を創る事です。その時は、ボランティアの企画設計スタッフを募集しますので、よろしくお願ひします。先日、仲間と「バスの缶詰」(トラベルジャーナル社)に執筆致しました。是非書店でお買ひ求めください。印税はバス博物館建設資金に充てられます。

動態保存ボンネットバス
 昭和42年製いすゞTSD40
 (山形交通)



大光電機(株) 広報宣伝部 中尾晋也
 TEL06-972-6280 / FAX06-972-6281
 E-mail: daiko@mxr.meshnet.or.jp
 http://www.lighting-daiko.co.jp
 http://www.a-wev.co.jp/~j-bus

■ 馬鹿なウイルス

このところ「ウイルス」という言葉をよく耳にする。ウイルスにもどうも馬鹿なウイルスと賢いウイルスがあるらしい。2000年以上も生き続け隆盛を極めた天然痘ウイルスは、1980年で一応絶滅したという。

彼らの戦略としての誤りは人間を主に相手にしたことらしい。毒性は高いが、一本調子で変身術を身につけていなかったという。したがってそれは同時に免疫が非常によく起こる。

一方ホストを限らず豚や水鳥や人間と、相手を考えながらそれぞれのところでよくわからないが、遺伝子の組み換えまで行ってくるという、非常に高度な戦略を駆使する賢いウイルスがインフルエンザのウイルスだという。人間がいる限り当分は生き続けるらしい。

つまり毒性は少なくとも変身術を身につけ、多様な攻撃パターンを持つウイルスはぶざまな死には方ほしくないという事になる。

商環境を取り巻く現状を考えると、毒性は高いが一本調子で変身術を知らなかった馬鹿な天然痘ウイルスと自分自身を重ね合わせてみたりする。「一本調子で変身術を知らない」という部分はあまりにもうまく自分を言い当てており、思わず笑ってしまう。だが笑ってばかりはいられない。賢いウイルスであるインフルエンザの如く変身術を身につけなければ、と思う今日この頃である(少なくともぶざまな死に方だけはしたくないものです)。

現代店舗 白井 進

施設概要

1. 施設名称 DEW Beauty Workshop
デュウ・ビューティ・ワークショップ
2. 所在地 大阪市浪速区難波中1-4-4 TK Bldg. 2 F
TEL. 06-649-2017
3. オープン日 '96.12.3
4. 工 費 1億円

DEW Beauty Workshop
＝デュウ・ビューティ・ワークショップ＝

D-「distill」 蒸留して不純物取り除く

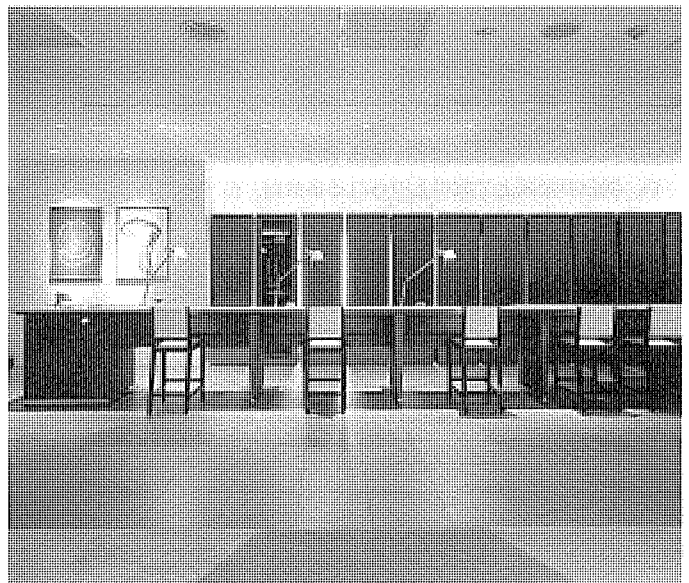
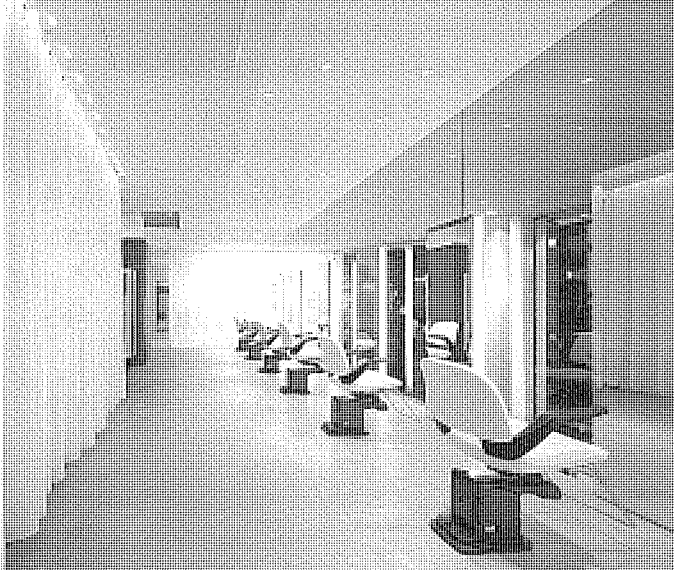
E-「energy」 気力、活力、能力

W-「wake」 目覚ます、覚醒させる、復活させる

上記の3つのキーワードをコンセプトに、ヘアドレッシング、ネイルケア、メイクアップ、アロマテラピーによるエステティック・東洋医学にのっとったカウンセリングなどを体験できる施設を200坪余りのフロアに展開。

環境計画としては、こういった施設によく見られる華やかさや装飾性を排除し、空間全体を、美を追求するひとつのワークショップと促え、女性が本来備えている内に秘めた力や端々しさ、艶やかさを引き出す場としての心地良さを考慮したレイアウト・マテリアル照明計画を試みた。

(株)インフィクス
間 宮 吉 彦



がんばってまっせにご寄稿お願いいたします。

会員による設計・施工例、賛助会員の施工・納入例をはじめ美術、工芸、音楽、文芸、書評、スポーツ、ギャンブル…etc. 内容は問いません。JCD KANSAIを通じて情報発信をしてみてください。【お問い合わせ JCD事務局 TEL.06-271-5375 今井まで】

平成のマイスター



革を組む

松山 茂

〒614 京都府八幡市橋本狩尾1-108
TEL&FAX. 075-982-5776

インド・ネパール・パキスタン・アフガニスタン・インドネシア等を旅した時に様々な工芸品に出会い、その魅力にとりつかれました。また、帰国してからそれらの工芸品を仕事としてかかわるようになり自然と物づくりを始めました。

今は、革と布（主に中近東のキリムとインドネシアのイカット）を使ったBag、そして革の編み上げメッシュによるBagを主に作っています。また時々注文に応じて博物館に展示するミニチュアやレプリカ等（主に帆船の艀装）もやっています。

〔略歴〕

- 1970 大阪芸術大学 デザイン科 卒業
- 1971~72 インド・中近東・ヨーロッパ 旅行
- 1974~ 革と布によるBagづくりを始める
- 1978 親子3人展 第1回大阪ヤノギャラリー
〈以後16回まで毎年開催〉
- 1983 京美展入選（京都：文化芸術会館）
- 1989 身を飾る物展（京都：ギャラリー 無有）
- 1990・'91 ソフトスカルプチュア展
（京都：ギャラリー 無有）
（東京：麻布美術工芸館）
- 1995 革を組む展（奈良：FRIBAL ART 京富）

紹介：ウズイ・デザインズ 渦居 茂



ジュエリー プロデュース ディレクター

石河 通春

本社 〒542 大阪市中央区東心斎橋1-13-11 クイント心斎橋ビル2F
TEL. 06-252-5740 FAX. 06-252-5745
7トリエ 〒542 大阪市中央区東心斎橋1-13-15 横山ビル3F
TEL. 06-244-5777 FAX. 06-244-5773
ショールーム 〒542 大阪市中央区東心斎橋1-14-24
TEL. 06-252-5430



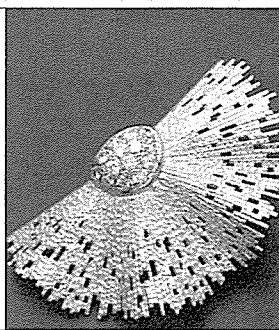
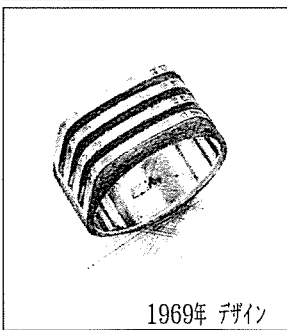
デザインポリシー
“優しさとエレガンス”

宝石のデザインは、それを身につける方の個性をいかに際立たせるかで評価される辺りだと考えております。それゆえ、皆様ひとりひとりの個性を知り、あなたに合うデザインをご紹介できたとき、私のジュエリー・デザインが完成いたします。

〈プロフィール〉

- 1967 アトリエ開設、'67大丸創美会、装身具部門、優秀賞受ける。
- 1969 '69 JAPAN JEWELRY EXHIBITION に15点入賞。
- 1973 '73 インターナショナル・パール・デザインコンテストに2点入賞。
- 1976 '76 ダイヤモンド・デザインコンテスト受賞。インターナショナル・パール・インコンテスト入賞。
- TNC, KBC, KTV、等TV出演。
- 1980 10回プラチナ・デザインコンテスト審査員。
'86、'87、'88、'89ゴールドコレクション発表。
'89プラチナコレクション発表。
- 1990 第1回国際宝飾展 I J T '90 発表。
'91、'92 I J T 発表。
- 現在 有限会社アトリエ・アル 代表。
近畿デザイナー協会会員。
J. I. C.、デザインハウスビジュ顧問。
ジャパングジュエリービジネススクール主任講師。

紹介：ウズイ・デザインズ 渦居 茂



増田 倫夫

株式会社クリエイティブ・サポート
代表

〒116 東京都西日暮里4-26-11 NEST-102

Tel. :03-5685-1538

Fax. :03-5685-1540

E-Mail:create@aa.mbn.or.jp

広報委員会 副委員長

関東支部 メディア委員会 委員長

二重窓の遠くに瀬戸内の海を思わせるような入江と岬が重なり午後の陽光に赤く染まっています。

旨い食べ物と酒に満たされながらのこの街の生活も四日を数え明後日には東京へ帰ろうと、里吉さんとの約束を思い出し机に向かいました。

考えてみると、この10年ほどはMac.のお世話になっての文章書きがほとんどでした。有り合わせの紙の上に言葉をちりばめるのはずいぶんと久し振りの感触です。

Mac.だ、メディアだ、インターネットだとデジタルどっぶりに見える私ですが実は相当のアナログ人間を自称しています。勝手気ままにキーボードに触り出して15年を超えてはいますがその間も2Bの鉛筆や色鉛筆と“マウス”は仲良しで共存してきました。

夜中の事務所でFMからマイルスのラップが聞こえてくればバーボンが欲しくなり、そんな時の右手は鉛筆の芯の汚れが似合っています。

クライアントミーティングの際に手帳の間から取り出すMOディスク1枚のCADデータは図面20枚の重さを忘れさせてくれますしディスプレイを囲んでの会議もずいぶんと増えてきました。

所内での打ち合わせで20~30レイヤーと重ねられたCAD情報のアウトプット紙面上の色鉛筆の重なりは思い入れや悩みをまざまざと見せていてそれもなかなか捨て難く好きな絵の一つです。

ぐちゃぐちゃ、ザクザクと考えをまとめていく私にとって色鉛筆を持つ時間を作ってくれるのが実は、Mac.です。事務所の雑事や連絡、情報(図面情報を含めて)の積み重ねを彼(Mac.)が良くこなしてくれています。自分とデ

ザインのコミュニケーションインターフェースとして鉛筆もマウスもまったく同等に機能しているということです。

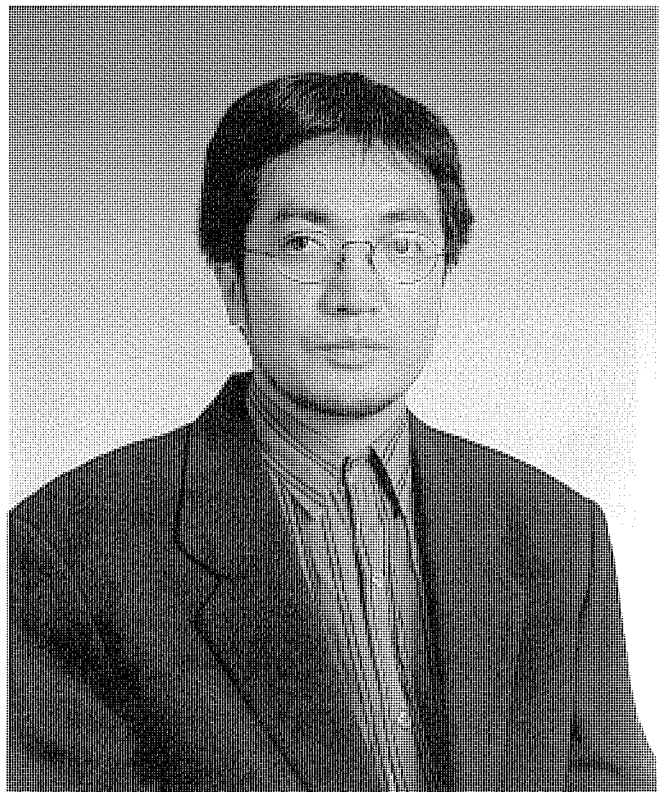
人とのコミュニケーションを考えたとき、最近のメディアはとっていい感じになってきました。伝えたい内容を声や活字だけでなく、音や映像、しかもCOPYでなく生の情報として直接自分で組合せも自由に発信できる環境になりつつあることです。マルチメディアとはメディアを個人がデザインできることかなと考えています。距離のハンディを克服するコミュニケーション=通信=にとってはデジタル様々といったところです。

もうすぐ、《JCDホームページ/予告編》が立ち上がります。同時に《関東支部ホームページ/予告編》も立ち上げJCD全国ネットワークの雛型としての実験も始まります。関西支部の皆さんのご協力が必要です。ご意見、ご希望を積極的に寄せください。もちろん、e-Mailでのご意見をいただくことが理想です。

一昨日、ホテルで書き始めたこの原稿も成田直前の房総上空で終わることになります。延べ3日に書き散らした原稿はA4・10枚を超えてしまいました。

さ〜て事務所に戻ったらMac.のお世話になって1,000文字程度に整理しなくっちゃ!

みなさん、出張するときにはノートブック型PCをお忘れなく。



増田 倫夫氏

尾山 淑朗

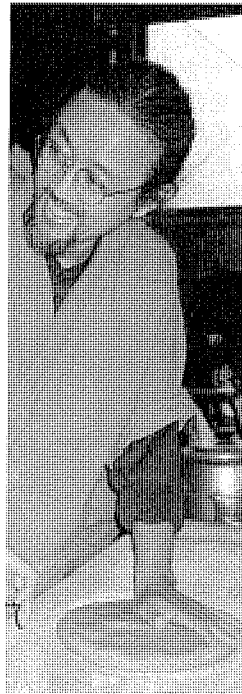
株式会社タクミ環境デザイン研究所
専務

〒921 石川県金沢市山科町へ41-15

Tel. :0762-44-2624

Fax. :0762-43-6274

E-Mail:t-oyama@po.incl.or.jp



“蕎麦職人と呼ばれたい
自称黒鯛釣師”こと
JCD北陸支部
尾山 淑朗氏

近頃 “ちょっと考えること”

「“環境にやさしい”“地球にやさしい”……こういう言葉づかいなんて、なんやちょっとしんどいやないか。くすぐったいやないか。あんたがた前にはこんな事あまり言わなかったやないか。ええっ（やや開き直った調子）」

「なんや近頃“やさしい”なんちゅう語彙はインフレ状態やなあ」

「黙り込んで返事をしないやさしさ」わかるか おい おまえさん（※これは説明すると「何か言ってみろ」と言われても「言うことがないから なんて言えやしない。あなたを傷つけないから、だから黙ってやってんの……」ということ。大平健：やさしさの精神病理より）

「このやろう“やさしく叱れ”なんてこったズバツとカチツと一発かませりゃ「そやなあ」（※これは消極的な肯定表現）なんて言っちゃうのに」 どうすりゃいいんだええん（※やや開き直りのイントネーションとしては尻上がりの調子）」

「どうも何重にもなっているような、このたぐいのことはようわからん。（※完全な開き直り状態）ええいやかましい」「ええかげんにせんかい」

「わいがこんなこというたら、あの筋のものに「暴力はいけません。暴力はいけません。」なんて言われているようなもんだと言うかお前さんは」（※この辺の論理を表現できるということはまだ若干の余裕がある）

「なにあちらの方では“愛”といわれ、こちらの方では“慈悲”とぬかすか。しゃらくさい。」

この後はやや時間のみが経過して、考えることをやめ、飲み食いに熱中する様子。

しかし、ここら辺からが、最近評価の高いところ。

「まああしかなんだ（※まだやや理屈っぽいが納得をあらわす）人間性の尊重をあらわし、人間性の深化を体現し、自然をいとおしむ心をあらわし、環境を保全する節度を示すように成長していかなきゃ、やっぱり御慈悲は無いよなあ」

ちなみに、こんな事があったというわけではありません。人間簡単にはこうはいきません。念のため

第2章

「我々が文化を意識する条件とは何やろか。現実の適応が比較的うまくいっているときは、意識があまりない。とすると、行き詰まりを見せる現在、文化ということがでてくるのはあたりまえのことなのかなあ」「だって今の文化ってかつては、その時代なりにいろんな雑多な程のたくさんの伝統の間にバランスがあって、次に受け継がれて、生かされてきたんじゃろうが」

「でも歴史的には、そんなにうまくバランスがとられていなくて、ある伝統だけがバランスを欠いて突出していることもたくさん経験しているやないか」

やや間合いがあって

もう時間なのと、なんやお互い虚しくなってきたので、もうやめ to be continue

次回は、JCDのホームページ「何でもありありフォーラム」でお会いしましょう。

P.S. なお石川（特に能登地方）での黒鯛釣り、および金沢の蕎麦事情に付いて詳しい情報希望の方はお気軽に E-mail:t-oyama@po.incl.or.jp へどうぞ

関西支部 平成8年度活動報告

今期は、支部の移転及び役員改選の年と、なにかと落ち着かない年ではあったが、JCD創立35周年事業とAPSDA 福岡開催の年でもあり、本部・支部とも活発な活動がなされた。我々関西支部としては、支部を(株)大阪デザインセンターに業務委託をし、各会員には今までの事務局業務が減った分負担をかけてはいるが財務的には良くなってきているように思われる。支部の活動としては、外向きの対応として行政及び小売業者また一般消費者に向けての、アピールとして下記の活動を行った。

96年

7月 (株)国際デザイン交流懇談会に参加しました

10月 大阪市主催 優良店舗コンクール
JCD 賞を以下の店舗に授与した。

- 西区 割烹 うゑだ
- 東成区 チキン 鳥富
- 淀川区 プティック SHIMIZU
- 天王寺区 カボチャール
- 住吉区 フェム・ド・ミツヤ

10月 近畿通商産業局主催、デザイン振興懇談会に参加

10月 大阪市商店会総連盟主催、「にぎわい大阪50周年祭」にブース参加

97年

1月 第一回JCDチャリティー絵馬展をDDAと共催参加

内向きでは各委員会構成で、今年は全支部会員がいくつかの委員会に参加をしていただき全員参加方式で構成した。このことにより、非常時などの連絡体制が作られ今後支部活動の基盤ができたと思っている。

第1回JCDチャリティー絵馬展報告書 (第17回DDA・JCD合同チャリティー絵馬展)

開催期間	1月10日(金)～1月16日(木)7日間
開催場所	OAPタワー2F 喫茶ピエント前 特設ギャラリー
入場者数	合計 2142人
入札者数	100人
売上枚数	52枚(出品総数78枚)売上率 66%
売上金額	146,300円
JCD負担金	40,000円
寄付金	880円
合計	187,180円
経費	
郵送費(落札絵馬、案内状及報告書)	33,310円
絵馬板代	40,000円
雑費(組紐代、包装材他)	13,870円
差引合計	87,180円
差引合計	100,000円
寄託金総額	100,000円

各委員会の活動報告

●研究委員会

・8月支部集会及びサマーセミナーを難波エスカイアクラブで開催。くだおれの柿木道子氏の話聞き道頓堀界限の歴史を再確認した。

・10月 第三回賛助会員交流会を大阪デザインセンター会議室で行ない、賛助会社とのコミュニケーションをより密にし我々会員が何をすべきか、またメーカー側に対する要望を話し合い、有意義なひとときを過ごした。

・平成9年4月には、大塚近江陶業の信楽工場を見学する予定を企画し、バスをしたてて関西支部の活性化もふくめ、楽しい親睦を兼ねた見学会にしたいと思っている。

●組織委員会

・8月 支部集会のサマーセミナーのあとをうけサマーパーティーを開催。会員相互の親睦をはかった。

・12月ちょっとお洒落なクリスマスパーティーとして、梅田スカイビル39Fスカイバンケット天風で開催。レッドとグリーンの小物をファッションにいかしたコンクールなどの企画をおこない、楽しいひとときを過ごした。

●情報委員会

・機関誌「JCD KANSAI Vol.39」を2月に発刊各賛助会員会社及び協力会社の広告をつのり予定どうり、今委員会で5回の発刊予定の基盤をつくることできた。

・3月には、JCD KANSAI Vol.40を発刊する。また来年度には、関西支部会員のより敏速なネットワークをつくりたいと思い、「JCDかわら版」を毎月発行する企画をたてている。皆さんの御協力をお願いしたいと思っております。

●特別委員会

・特別委員会は、対外的催しの参加に対しての担当委員会として、今年度は10月の大阪市商店会総連盟主催「にぎわい大阪50周年祭」のブース参加の設営等を行い(DDA共催)各団体との親睦をはかった。

・1月には、第一回JCDチャリティー絵馬展を(DDA共催)をOAPで開催し別記のような収支結果により、大阪府に10万円の寄付を行った。JCDとしては、初めての事業であり今後毎年行っていこうと思っている。会員の皆様には絵馬のスケッチ等の参加協力を宜しく願います。

以上、本年度は支部及び各委員会が活発な事業を展開してきましたが、残念なのは参加者が、同じ顔ぶれが多いという現象があり、来年度はもう少し充実した事業を行ってゆきたく、全会員が参加していただけるJCD関西支部活動を全役員一貫となって行っていきたいと思っている。皆様のご理解とご協力を宜しく願います。

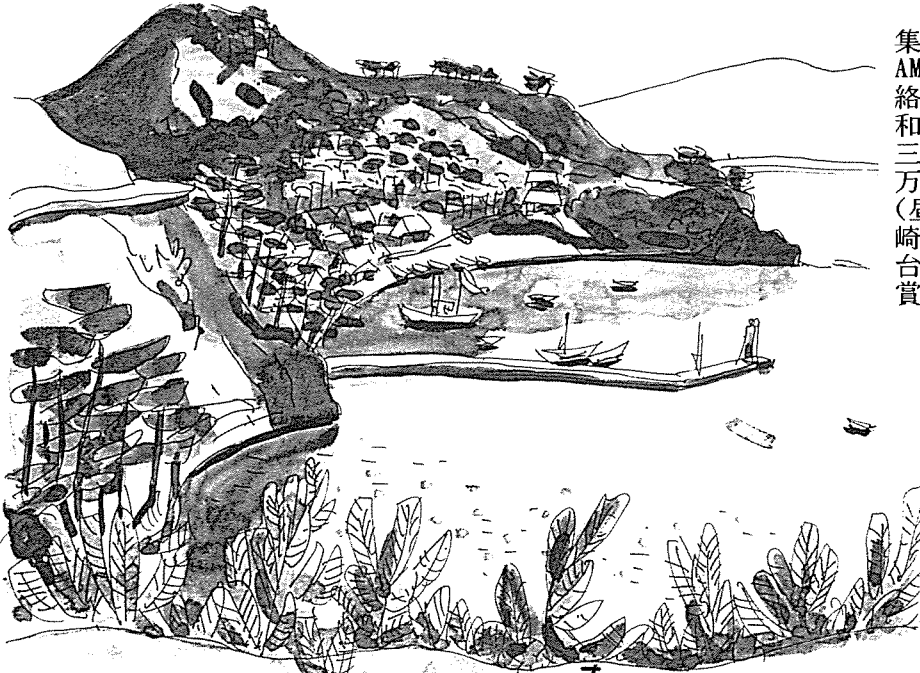
春のるるぶ会のご案内

スケッチする たべる あそぶ 4月26日(土)新和歌浦、雑賀崎方面

春の「るるぶ会」をご案内します。今回は新緑の新和歌浦、雑賀崎を中心にスケッチしたり、万葉歌の地をたずね、出来ればおいしいものを食べて陽光の中で皆様と一日 目一杯楽しんで見たいと思います。奮ってご参加ください。

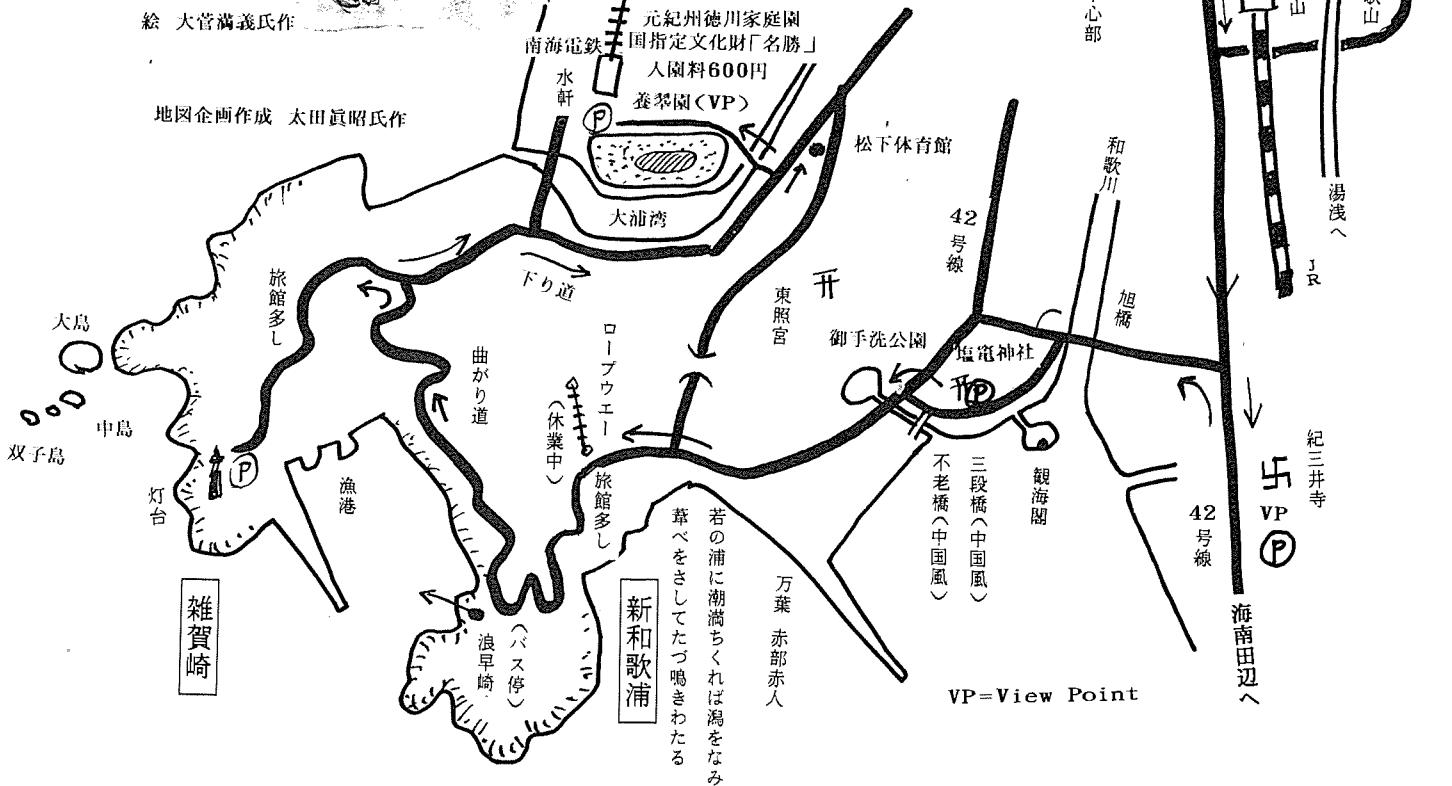
スケジュールと行き先
実施日 4月26日(土)

集合 阪和自動車道(紀ノ川SA AM9:30)(後日自動車の配車を連絡します。)紀ノ川SA(9:40)⇒和歌山IC⇒和歌山市内南下し紀三井寺(10:30着)(11:00発)⇒万葉の地塩竈神社⇒新和歌浦へ(昼食、料理旅館 石泉閣)⇒雑賀崎へ⇒中ノ島、双子島、港、灯台でスケッチ⇒養翠園で庭園観賞⇒和歌山市⇒帰路へ(17:00頃)



絵 大菅満義氏作

地図企画作成 太田眞昭氏作



予定費用 約 10,000円(昼食代、車関連費)

申し込み 大菅(06-541-0064) 原田(0720-33-4224) 岡(075-983-2947) 締め切り 4月10日(木)

お願い 当日の自動車手配協力をお願いします。又、申し込み時に、乗車希望など申し込みください、のちほど、待ち合わせ場所時間を連絡致します。

雨天判断 前日、又は当日(AM6時ころ)NHK天気予報で和歌山地区降水確率40%は中止、30%は決行します。(個別連絡はしませんの確認をお願いします。)

るるぶ会企画幹事 大菅 満義 太田 眞昭 原田 隆夫 岡 修作

研究開発委員会活動報告

昨年6月に委員会が組織されてからはや6ヵ月、前任の研究開発委員により立案された活動方針を継承し、関西支部会員の『知』の環境づくりのお手伝いを行うことを目標に6回の協議を行ってきました。

8月末に、組織委員会のサマーパーティーと合同で談話室のコーナーを設け、軽妙かつ興味深い話を聴く会を実行してきました。以降APSDA、年末年始の関わりもあったとはいえ目に見える実質的な活動を行えなかったことは残念な事だと感じています。

ほとんどが新しいメンバーの新組織で、戸惑いながらも具体的に新組織としてなにを提供してもらえるのか、毎月の定例委員会で検討を重ねてきました。今後の活動を見守っていただきたいと思います。

これから行おうとしている研究開発委員会の活動として具体的な内容をお知らせしておきたいと思います。

① 制作現場、視察・体験などを通じてのデザイン発見

☆製品造りの現場を通じて

☆体験学習を通じて

② マルチメディア社会に向けてのパソコン研修会

☆CAD、CGについての知識学習

☆インターネット体験学習（基礎知識）

③ 他支部会員を招いてのセミナー、シンポ

☆他支部会員の行うセミナーへの招へい

④ 高齢化社会に向けての商業環境

☆バリアフリーなどの研究

☆文化発信都市関西とデザインの研究

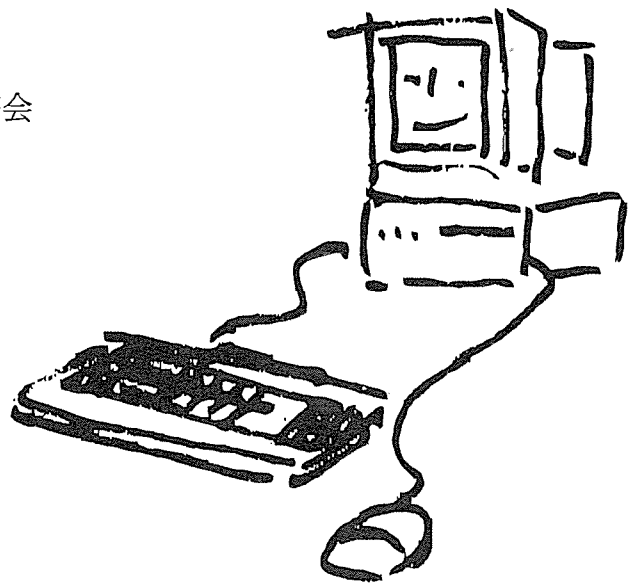
⑤ 気軽な研究会

☆会員自由参加

☆関西会員による店舗（主に飲食）に集まったのデザイン談話会

⑥ 新入会員・特に若年層の会員を再グループ化しての研究、勉強会

などをこれからの1年半を通じ実行してゆきたいと思っています。他にご希望があればご提案下さい。

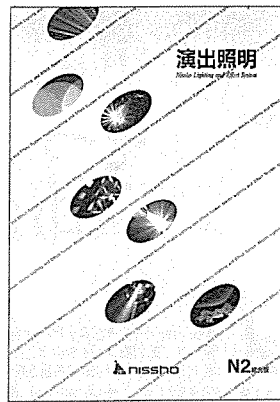


お知らせ

来る4月の春麗らかな日、制作現場からのデザイン発信として信楽町の大型美術陶板として知られる『大塚オーミ陶業』の見学会を企画しています。大型陶板、デザイン陶板などの制作現場を体感していただこうと思っています。

4月19日(土)、春体験、体感デザイン発見ご期待下さい。

Needs & News



小さなスペースでもパワーを発揮する、コンパクト設計の本格派。
 組み合わせは自由自在。ご予算やレイアウトに合わせてシステムアップも思いのまま。
 操作はやさしく、施工も簡単。プロ並の照明が手軽に実現できます。

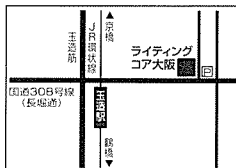
株式会社 日照

〒566 大阪府摂津市鶴野3-8-7
 TEL. 0726-34-1231 FAX. 0726-34-1239

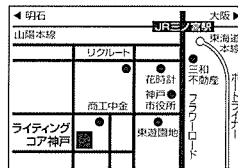
次代の「あかり」体感。



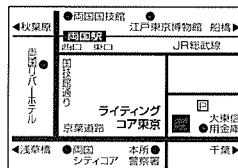
あかりのショールーム「ライティング・コア」
 最新の製品や技術をご紹介したり、お客様との意見や情報を交換するなど、さまざまな活動を幅広く展開。
 “あかり”と文化のふれあいを体験できるコミュニケーションスペースとして、あるいは、ジャンルを問わずグローバルな感性を深めるための出逢いの場として、大切な機能と大きな役割を果たしています。



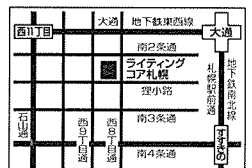
ライティング・コア 大阪
 〒537 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル1F
 Tel. (06)972-5111
 Fax. (06)972-9870
 営業時間 A.M.10:00~P.M.6:00
 休館日 水曜日(祝日の場合は営業しております)
 年末年始、夏期休暇
 JR環状線 玉通駅より東へ徒歩2分 隣接(向)あり



ライティング・コア 神戸
 〒650 神戸市中央区江戸町101 スカイビル1F
 Tel. (078)331-5295
 Fax. (078)331-5237
 営業時間 A.M.10:00~P.M.6:00
 休館日 水曜日(祝日の場合は営業しております)
 年末年始、夏期休暇
 JR神戸線 阪急神戸線 阪神本線 三ノ宮各駅より徒歩10分



ライティング・コア 東京
 〒130 東京都墨田区両国4-31-17 DAIKO TOKYO B.L.D.
 Tel. (03)5600-7780
 Fax. (03)5600-7790
 営業時間 A.M.10:00~P.M.6:00
 休館日 水曜日(祝日の場合は営業しております)
 年末年始、夏期休暇
 JR総武線 両国駅より徒歩3分 隣接(向)あり



ライティング・コア 札幌
 〒060 札幌市中央区南2条西8丁目
 Tel. (011)271-0136
 Fax. (011)281-1459
 営業時間 A.M.10:00~P.M.6:00
 休館日 月曜日(祝日の場合は営業しております)
 年末年始、夏期休暇
 地下鉄東西線 西11丁目駅 大通駅 地下鉄南北線 すずきの駅 各駅より徒歩7分



本社 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル 537
 Tel. (06)972-5555 Fax. (06)974-5569

委員会だより

情報委員会

- 11/11 【錫】 大光電機(株)
- 12/9 " サンゲツ(株)
- 1/13 " 大光電機(株)
- 1/20 " ぶどうの木(広報委員会)
- 2/3 " 大光電機(株)
- 2/12 " ピクデザイン

組織委員会

- 11/13 【錫】 サンゲツ(株)
- 1/27 " "

研究開発委員会

- 11/18 【錫】 (株) タジマ
- 12/10 " " "
- 1/20 " " "
- 1/30 " (株) 船場
- 2/17 " (株) タジマ

特別委員会

- 11/6 【錫】 APSDA会場
- 12/16 " 神戸
- 12/26 " ODC
- 2/12 " "

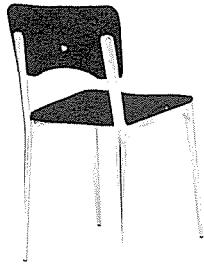
編集後記

年末・年始にかけ余裕をもったスタートでありましたが、原稿の回収の遅れや編集作業の不手際で結局は2月号の予定が1ヵ月も遅れてしまいました。事を深くお詫び申し上げます。(白井 記)

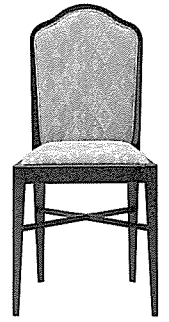


IFP CO.,LTD.
 EBISU YOTSUBASI BLDG. 8F 1-7-3
 SHINMACHI NISHIKU OSAKA 550
 TEL:06(538)6841 FAX:06(538)6851

Needs
&
News



ひとつひとつが、
印象派。



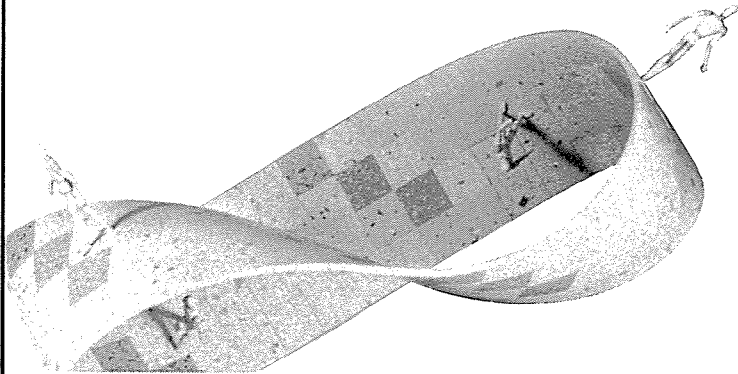
アボロ **aboro**

本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06(644)5541(代)
東京支店 〒123 東京都足立区鹿浜5丁目5-18 ☎03(3855)4711(代)
名古屋営業所 〒458 名古屋市中区錦2丁目264 ☎052(624)6660(代)

KINOSHITA
株式会社キノシタ

商品管理センター 〒578 東大阪市若江東町4丁目3-1 ☎06(725)3031(代) 出雲工場 〒693 島根県出雲市長浜町516-45 ☎0853(28)0311(代)

床を創る
TAJIMA



人・歩・く

いつからだろう。
人が、歩きはじめたのは。
どうしてだろう。
地球に重力があるのは。
いつからだろう。
人が、靴をはくようになったのは。
どうしてだろう。
屋根の下に、人が暮らすようになったのは。
きつと、これからも
人は、歩きつづける。
人が歩きつづける限り
タジマは、これからも床づくりです。

株式会社 **タジマ**

営業本部 〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03-3866-6101 FAX03-3862-5908

東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町3-12 山源ビル
☎03-3861-3101 FAX03-3861-3615

大阪営業所 〒550 大阪市西区京町堀1-10-5
☎06-441-5951 FAX06-444-2596

HUMAN WORKS
タジマ「床づくり」で人様を助ける。

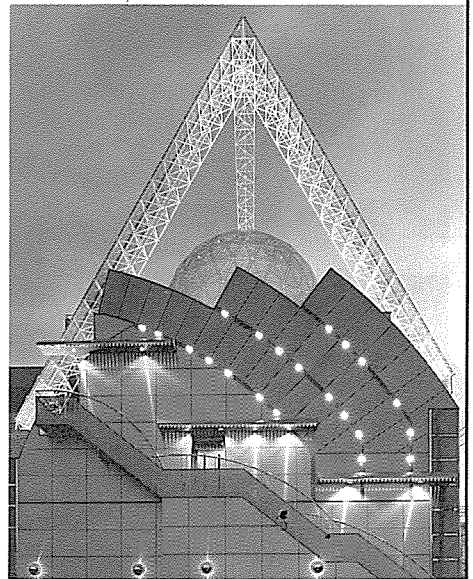


Mercury & Jupiter (高視ボール) 設計/大進一弘建築設計事務所 施工/前田組

イメージをカタチに。

TM TRUSS FOR
AMUSEMENT PLACE

太陽工業のTMトラスは、設計者のデザインイメージをそのまま立体空間に実現する造形上の自在性にたいへん優れています。アミューズメント施設の演出に欠かせない照明、ネオンサインとのマッチングも非常に良好です。TMトラスの工法は安全性が高く、短期間で建造物を完成させることができます。仕上がりの美しさ、優れた耐久性、システム化された工法などが多くの建築家に評価されています。



遊ステーション
設計/大進一弘建築設計事務所
施工/田中太工務店

TMトラスとは、トラス材と接続ネジ孔をもつ鋼球(グローブ)との組み合わせで引張力や圧縮力に耐えるトラスを組み広げていく立体トラスシステムです。無溶接ジョイント工法のため、ジョイント部が小さく意匠的に優れ、かつ工期が短く無限に広がる空間の形成が可能な理想のスペースフレームです。

太陽工業株式会社
建築システム事業部

大阪市淀川区木川東4-8-4 〒532 TEL(06) 306-3078
東京都目黒区東山3-22-1 〒153 TEL(03)3714-3471
名古屋市中村区名駅南2-8-11 〒450 TEL(052)541-5120

Needs & News

設計・施工・石材販売

G・S・C グレート・ストーン・コーポレーション

建物の内・外装の石貼り工事及び本石規格石材等の材料加工販売をしております。また、カットサンプルをご用意しておりますので、ご請求ください。

〒573-01 枚方市津田 2586-58

TEL. 0720-59-8159

FAX. 0720-59-2981

担当：上 田

A L M A
series



COSMO

AIDEC

株式会社アイデック/大阪市西区新町1-10-2大阪産業ビル
Phone.06-534-0258 Fax.06-532-4876 担当:正木

床材総合 カタログ

カーペット

カーペットタイル

フロアタイル

重歩行用長尺シート

床用接着剤

株式会社サンゲツ

●大阪ショールーム TEL.06-440-5011

壁装材・カーテン・床材・椅子生地



流通店の
照明をみる。

YOUR-MART
LIGHTING PLAN FOR DISTRIBUTION INDUSTRY



ENDO
LIGHTING CORP.

流通店舗の照明を考えたカタログをご用意しております。
ご請求ください。

(株)遠藤照明 商業施設部
Tel/06-533-9180
Fax/06-533-9197

NEW WAVE. A SENSE OF LIFE
KOIZUMI



これがGマークの精度。

グッドデザインに選定されたJスポットは、光制御の命ともいえる反射板(BBミラー)がすごい。これまでにない高い精度と効率で、スポットの光は拡散することなくターゲットに集中。キレのいい配光とシャープな輪郭でドラマティックな光演出を実現します。

J-SPOT



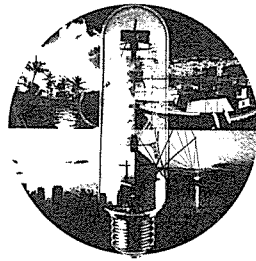
小泉産業株式会社 本社 〒541 大阪市中央区備後町3-3-11, TEL.06-262-1369 FAX.06-262-1490
ショールーム KOIZUMIライツワークスタジオ/イズムATC

〒559 大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター-ITM-10-K-3 TEL.06-613-9280 FAX.06-613-9295

Needs & News



HYLUX



4タイプの光の色で
あらゆる空間を表現豊かに演出。

- ◆ 4タイプの光の色
- ◆ 豊富なワット数
- ◆ 高演色性
- ◆ 白熱電球の約4倍のランプ効率
- ◆ 白熱電球の約8倍の寿命
- ◆ 商品にやさしい光
- ◆ 安全性と効率がアップ
- ◆ 注目発明に選定

人と光のパートナー

株式会社 近畿ライトキューブ
(岩崎電気(株)グループ)

〒530 大阪市北区万歳町5-9 (小原ビル202号)

TEL. 06 (311) 1022

FAX. 06 (311) 1036

国産ネオン
輸入ネオン(アメリカ製)
電飾サイン
カッティングシート
デザイン・設計・加工・施工



MAVERICK
the signs of life

株式会社 マヴァリック

〒537 大阪市東成区中本1-7-2

TEL 06-973-3636 (代) FAX 06-973-3659

街の劇場化計画。

テンパルは、「心地よさ」をコンセプトに、
ファサード、モール、商業施設などの空間演出を展開し、
街の美しい景観を創造します。

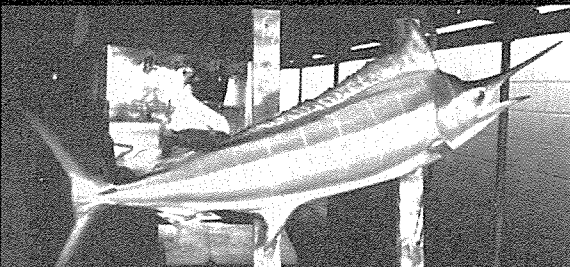


テンパル

本社/〒169 東京都新宿区高田馬場1-29-7 東京 ☎ (03) 3207-4903 横浜 ☎ (045) 825-8660 大阪 ☎ (06) 358-0730 福岡 ☎ (092) 926-7855

Needs
&
News

より精密さを求めて・・・



FRP加工模型販売しております。

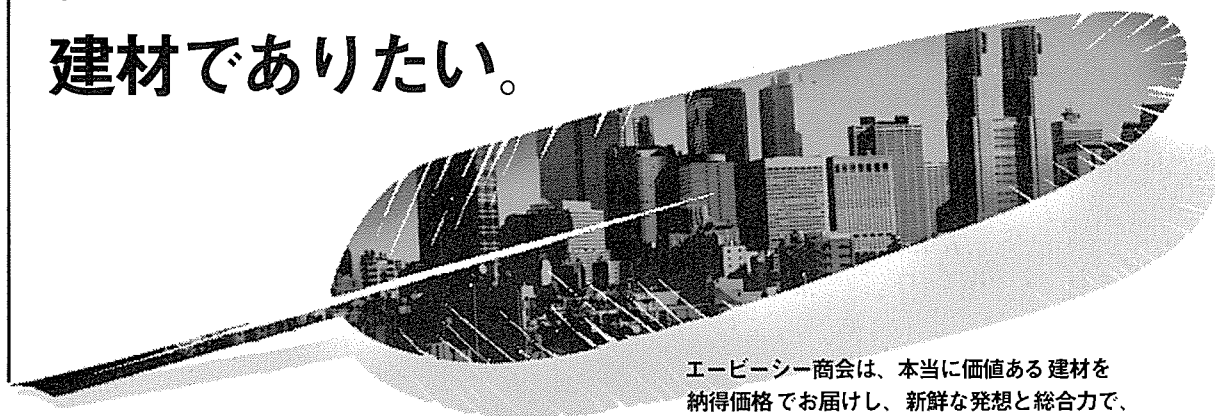
シロカジキ (W2000)	¥300000
バショウカジキ (W1200)	¥150000
キハダマグロ (W1200)	¥150000
ロウニンアジ (W1000)	¥100000

各種取りそろえております。

SOFT PLANNING and HARD PLANNING
Will CORPORATION SUN CREATION

株式会社 サンクリエーション 〒541 大阪市中央区博労町2-2-6 TEL.06-266-8835 FAX.06-266-8836

ひとのいる場所に、
夢をひろげる
建材でありたい。



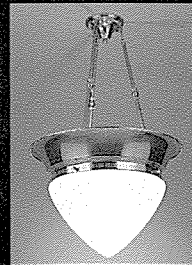
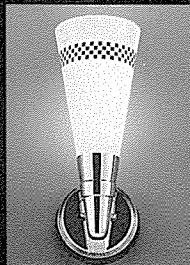
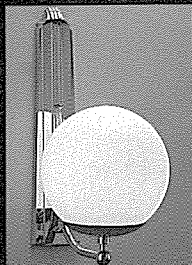
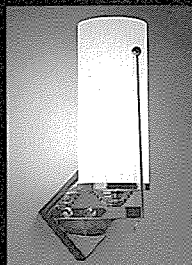
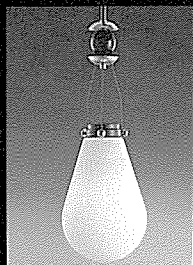
エービーシー商会は、本当に価値ある建材を
納得価格でお届けし、新鮮な発想と総合力で、
空間づくりの「満足、納得、安心」をご提案します。

(株)エービーシー商会 大阪営業所 〒540 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル8F TEL06-944-4900

ABC shokai

NEW YORK LIGHT GALLERY®

1920~1940年代 アメリカの繁栄、栄華を誇ったマンハッタンのビルたち…
そのエッセンスを引き継いだ「NEW YORK LIGHT GALLERY」が、
マックスレイのブランドとして生まれ変わりました。
失わない輝き、優雅なフォルムをマックスレイがお届けします。



maxRAY

A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社 大阪支店

〒536 大阪市城東区鴨野西4-6-22

Tel.06-967-0123 Fax.06-967-0837

当社従来品比
1/4サイズ、
ナショナル高輝度誘導灯。

原寸大
コンパクトスクエア
100×100mmタイプ



スリムさこそ、注目。

効率の良い導光方式だから可能になった、薄さ13mm。しかも、表示面輝度が高く、視認性も十分に確保し、洗練された建築空間にスッキリ調和するフォルムです。

① スリム&コンパクト

ランプ直径4mmの小さな冷陰極蛍光灯を採用したため、薄さ13mmとスリムで有効表示面積も約1/4(従来品比)と小型化。

② 高視認性

高輝度の新光源と効率の良い光学設計で、表示面輝度は約1.5倍(従来品比)にアップ、誘導効果の高い視認性を確保。

③ 省エネルギー

新光源と新開発AC/DC兼用インバータの組合せで、消費電力を約1/3(従来品比)に抑え、大幅な省エネが実現しました。

④ 省メンテナンス

ランプ寿命は約20,000時間の長寿命設計でメンテナンスを省力化。ランプモニター付で交換時期もひと目でわかります。



通産省選定グッドデザイン'94地球にやさしいデザイン賞受賞。
●環境との調和に配慮した商品として評価されました。

写真は 天井埋込型 10形(小形相当) FA11455ENL(片面型) 標準価格 30,000円(税別)

ナショナル
(高輝度誘導灯)
コンパクトスクエア

●詳しい資料を差しあげます。……………[〒571]大阪府門真市門真1048
松下電工・電機マーケティング部「コンパクトスクエア」係 ☎(06)908-1131

National 松下電工